

発刊のことば

「論究日本文学」の創刊されたのは、昭和二十九年七月である。その創刊号は、清水先生の還暦を記念したものであった。このように本誌と清水先生とは深いつながりを持つものであるが、それからはや五年の歳月が経った。この三月、先生は定年を迎えられ、御退職になった。ここに我々は再び先生に贈る記念号を編むことになったのである。

清水先生は本学に赴任されて以来三十四年、教壇に、教学の要職に、各方面に互って多くの功績を残された。また学界においても揺ぎなき業績をうち建てられた。これらのことは、今更申すまでもないことであるが、今回、立命館大学名誉教授の称号が贈られたことは、それらの功績に報いるためであると承知している。

今、後輩、もしくは教え子である我々としては、先生が学園を去られることについて、惜別の情に堪えないものがあるが、先生の学殖と、教育者としての情熱は、今後も学園にその余芳を止めることであろうし、我々はそれを大切に守ることによって、学恩に報いることができるであろうと思う。また先生は定年を迎えられたとは言え、ますます躡躑たるものがある。まだまだこれから研究を進められるであろうし、我々を導いて下さる機会もあろうと思う。先生の今後の御精進を祈り、御教導を懇願して、記念号刊行のことばをとじる次第である。

昭和三十四年九月一日

立命館大学日本
文学会会長 和田 繁 二 郎